



北関東で唯一「YPJ-MT Pro」を取り扱う

「入店は12年前。それまで普通のサ  
ラリーマンだったので、まずは自転車  
が進んでいて通学距離が比較的長く、  
好まれるのはブリヂストンのアルベル  
ト等、6年間しつかり乗り続けられる  
耐久性を持つ高額モデル。3世代世帯  
も多く祖父母が入学記念に買ってく  
るとか、周りの影響を受けやすい等、  
地域柄もニーズの安定を支えている」。  
そんな手堅い商売を続けている店舗に  
S B A A P L U S は無縁のようにも  
思えるが、松井さんの意識はもっと高  
いところにあった。



英国ブランド「RALEIGH」のロードバイク

安全整備士の資格を取得した。次に考  
えたのが、先の事業プラン。冬から春  
にかけては安定しているものの、春需  
が終わると一気に仕事が減ってしま  
う。その部分に何か、新しいアイデア  
を盛り込もうと考えた。照準に定め  
たのが、スポーツバイク販売だった。  
そして自らもロードバイクに乗り始  
め、技術を磨くためにS B M の資格も  
取得。だがまだ、何か足りない。自転  
車業界とそれまで全く接点がなかった  
ことから、知識やビジネスノウハウが  
ないことを感じていたのだ。そこで目  
を向けたのがS B A A P L U S だ。「各  
規格等製品の基礎の部分からバイク  
フィッティングまで、幅広く学ぶこと  
ができた」ことで、いよいよ本格始動。  
まずは当時ブームだったロードバイク  
販売からスタートし、グループプライド  
等で顧客とのコミュニケーションを深  
め、現在はM T B も展開している。

### 黎明期からEバイクにも注力

取材に伺った際、店内の完成車ライ  
ンナップを見て意外に思ったのが本格  
的なE M T B の試乗車が複数台あっ  
たことだ。新しいことに意欲的な松井  
さんはEバイクにも早い段階から注目  
しており、2015年にヤマハがY P  
J シリーズをリリースするとすぐに  
試乗車を注文。その次のフェーズにあ  
たるミヤタのリッジランナーの際も、  
すぐに動いた。理由は「スポーツバイ  
ク専門店はしばらく、Eバイクを販売

ユーザーは、ほぼ最初からスポーツ目  
的。そんな層にステップアップを促す  
ためにはミドルやハイエンドのライ  
ナップが必要になるが、専門店ではな  
い個人店舗にはなかなかハードルが高  
い。Eバイクに目を向けたのは、通学  
車主体から脱却した上で今後の伸び代  
も見込める最善策ともいえそうだ。

以前、自転車協会が主催したオフ  
ロードバイクサミットにも松井さんは  
積極的に参加する等、勉強を重ねてい  
る。「オフロードバイクサミットは良  
い取り組みなのに、参加者が少ないと  
感じた。もっと認知向上につとめるべ  
き。また一般の人が気軽に参加できる  
オフロードバイクのイベントももっと  
実施して、M T B や E M T B の 楽 し  
さを広く伝えてほしい」。松井さんは、  
常に前を向いている。

- ▽住所：栃木県栃木市岩舟町静114  
411
- ▽TEL：028215511780
- ▽営業時間：通常9:00~19:00
- ▽定休日：日曜日(4月~11月)
- ▽通学向けモデルはブリヂストン、ミ  
ヤタ、マルキン等のメジャーブラン  
ドが中心で、ロードバイクはメジャー  
ブランドに加えラレー、アラヤ等、  
個性的なラインナップも揃える。ま  
たEバイクのラインナップはヤマハ  
(YPJ)、メリダ、パナソニック、ミ  
ヤタ、BEVS等の本格的なE M  
T B が中心で、試乗車も充実。

一般社団法人 自転車協会

# SBAA PLUS が導いた、店の

(一社) 自転車協会が展開するスポーツバイクを取り扱うスタッフの認定資格「SBAA PLUS」。全国  
922名のSBAA PLUS認定者は果たして、そこにどんな価値を見出し、ユーザーの安全・安心にどう役立  
ているのか。今回は栃木県栃木市岩舟町にある「松井輪業(サイクルショップマツイ)」の副店長、松井洋介さんに話  
を伺った。

# 歴史を繋ぐための道筋



店内にはフィッティングマシンも設置



一般車は通学向けモデルがメイン



栃木市岩舟町で約100年営業を続ける松井輪業



SBA PLUS 認定者の松井洋介さん